



# 社会新報 (岡山県連合版)

2015年5月1日  
(毎月1日発行)

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html

e-mail: sdp\_okayama@helen.ocn.ne.jp

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)  
〒100-8909 東京都千代田区永田町2-4-3  
☎03-3592-7515 1部180円月700円年160

発行責任者 武本恒夫

## 岡山市議選挙(中区)結果 下市このみさん 祝当選

2015岡山市議選結果・比較検討表

項目	投票率	得票率	得票数
今回	42.9	9.2	4,493
前回	47.1	7.7	3,980
増減	-4.2	+1.5	
差異分析	△290	+803	+513



安倍首相の訪米・オバマ大統領との首脳会談にあわせるように、アメリカの戦争に負担する「日米防衛指針(新ガイドライン)」が4月27日、合意しました。

新聞各紙は「日米同盟一変 対米支援、地球規模に」朝日「集団的自衛権を反映、地球規模に協力拡大」山陽」と、同じ基調で伝え、「新報」も

**祝メーデー！働く者の回結と連帯で「戦争法案」を阻止しよう！**

統一自治体選挙、県内では公認候補を擁立しようとか大会決議され議論してきたが、結果、断念せざるを得なかった。後、岡山市議選(中区)で、下市このみ氏(無所属)と政策協定を結び、党員、支持者は当選に全力をあげた。上記表は投票率が下がった中でも得票率が20%票を伸ばし、4位当選を果たした。これら党として何を学び、これから運動にどう進めていくか

### 岡山市議選から学ぶ

戦後70年、私たちが再び戦争をしないと誓った憲法は、歴代政権が違憲としてきた集団的自衛権の行使容認どころか、実質改憲の自衛隊海外派兵(地球の裏側も)、戦闘の地帯へも送り込もうとしています。与党合意で「歯止めをかけた」のではなく、憲法の平和主義の「歯止めを外した」ことに他なりません。

そして、重要なことは「特定秘密保護法」の下に、国民に情報隠蔽され、事実上、報道介入も形を変えて進められていることです。「戦争法案」

戦後70年、私たちが再び戦争をしないと誓った憲法は、歴代政権が違憲としてきた集団的自衛権の行使容認どころか、実質改憲の自衛隊海外派兵(地球の裏側も)、戦闘の地帯へも送り込もうとしています。与党合意で「歯止めをかけた」のではなく、憲法の平和主義の「歯止めを外した」ことに他なりません。



青空に泳ぐ鯉のぼりは、平和と健康を願う象徴(総社市4・27)

「4・26県連合常任幹事会」が大切で、下市議員の協力を得ながら議会傍聴や市民相談など日常活動を協働で進めることが必要です。また、自治体議員掘り起こしなど、計画的な取り組みを進めていきます。



4・26 県連合常任幹事会で

阻止にむけ、街宣活動にご参加ください。  
【武本幹事長】

「トマ・マクティから書」  
今話題のトマ・マクティは「21世紀の資本」で格差を生み出したのは「資産を持てるものかどうか」という。だから累進課税で持てるものへの増税を主張する。「1%の人が99%の人を支配している」とアメリカの格差社会を鋭く批判した運動の背景だ。日本でも格差社会を背景とした「子ども貧困」問題は深刻。とくに家庭の事情で十分な教育を受けられないなどを生むという。ここで思い出すのが安倍政権の「孫への教育相続優遇税」だ。よいことと思いつつ「1500万円」と聞いて「ハテ？」と考えた。持てる層の子どもに税優遇は格差の再生産(貧困の再生産)ではないか、と。(哲)

- 党県連合活動日誌**
- 4/3 岡山市議・県議選告示
  - 4/12 // 投・開票
  - 4/13 熟年者ユニオン昼食会(矢吹)
  - 4/15 党1・2区(岡山市)党員会議
  - 4/21 説原発1千万人署名実行委員会(福島)
  - 4/22 おかやま労働安全衛生センター総会・講演会
  - 4/23 党定例街頭宣伝(岡山駅前)
  - 4/24 時事問題懇話会(政治の貧困・歴史の教訓)
  - 4/25 JRF福知山事故を問う集会(党)
  - 4/26 党県連合常任幹事会
  - 4/29 日中友好記念レセプション
  - 5/1 津山・新見・岡山メーデー(挨拶・ピラなど)
  - 5/1 憲法施行68周年講演会(国際交流センター)
  - 5/2 連合岡山メーデー(岡山ドーム・ピラ)

**定例学習・読者会**  
「新報」読者会  
5月12日(第2火) 18時  
弓之町「時事問題懇話会」  
5月15日(第3金) 18時  
※聞きたい・話したい人歓迎  
いずれも岡山社会文化会館

**5** 月祝メーデー。そもそもメーデーの起源は、1886年5月1日にシカゴで8時間労働制を要求した闘い。「8時間は労働、8時間は休息、のこりの8時間は自分たちのために」という人間復権の要求だ。12時間以上の労働が当たり前になった時、弾圧と犠牲の上に、労働者の権利要求と国際連帯で1890年第一回メーデーを開催▼今はどうか。「残業代ゼロ」という労働時間の制限のない制度へ動きを強めている。百年前、人間の限界を超える長時間労働が、形を変えて現在に再登場だ▼非正規労働も儲けを追求する規制緩和だが、今日の「守銭奴」に儲けは「これで十分」ということはない▼だが、もっとも人間らしさを奪い去るのが戦争だ。「戦争できる国づくり」にまい進するため、5月連休明けから安全保障法の法案審議で、与党合意を数で押し切ろうとしている▼「戦争法案」no対抗力は何か。辺野新基地反対にみる「オール沖縄」の力だ。「真理が大量の心をつかめば力」となるへの